

経済学部・経済学研究科アドミッションポリシー（入学者に関する受入れ方針）

① 経済学部

一橋大学は、建学以来、自由闊達な学風のもとで、社会科学の総合大学として研究・教育を推進し、国内のみならず国際的に活躍する多くの有為な人材を輩出してきました。経済学部は、このような本学の伝統の中核を担って、経済学的な視点と知識を有する人材の育成に携わっています。

経済学は、さまざまな産業において生産されるモノやサービスが市場で交換、分配、そして消費される循環的なプロセスを広い視点から研究して、そこに現れる特徴や法則性等を見いだそうとする学問です。経済活動や経済現象の全体は複雑であり、意味のある分析をするためには、さまざまな科学的推論が必要となります。そのために、経済学は数学を必要とします。他方で、経済学は人間と社会を対象とする社会科学であり、解決すべき問題は時代の文脈に従って変化します。現在、日本、そして世界には、失業、環境、貧困、医療、少子高齢化、福祉等の重要な経済問題、社会問題があります。経済活動の国際化、あるいは技術革新の進展に伴い、新たな多くの問題も生まれています。このような問題を扱うためには、経済学の知識とともに、問題の背後を理解するため、歴史学および地理学的視点も必要とされます。また、外国語によるコミュニケーション能力もますます重要になっています。

以上のことから本学部では、以下の諸能力を備えた学生を受け入れたいと考えています。

- ①英語による講義を受講できる双方向の外国語能力、②経済学を理解するための数学力、③双方向コミュニケーションのための日本語能力、④経済現象を幅広い視野と多角的見地から分析できる解析力、⑤幅広い一般的知識とそれを深化させる理解力。

本学部は、幅広い視点に立った教育を、経済学のさまざまな分野に関する授業をはじめとして、少人数のゼミナール教育を通じて多面的に実践しています。このような教育を受けた卒業生は、民間企業で活躍するほかに、かなりの学生が、官庁、民間の研究機関、世界銀行等の国際機関、そして大学院等に進みます。このことは、経済学が幅広い視点から経済活動を捉える学問である、という上述の学問的姿勢によるところが大きいものと考えられます。日本および世界には、経済学の観点から見てチャレンジングな課題が数多くあります。そのような課題に、一橋大学経済学部で我々と一緒に取り組んでみませんか。我々は、柔軟な発想とみずみずしい感性をもつ皆さんの入学を心から待ち望んでいます。

② 経済学研究科修士課程専修コース

一橋大学大学院経済学研究科修士課程においては、高度な経済学理論を理解し、複雑な経済・社会の現状を的確に認識して論理的に課題を切り出し、これを分析する能力が求められます。このことから当課程では、経済理論を理解する上での数学力、理論的なフレームワークを批判的に議論できる論理力、また現象を捉えて的確な論理構成で示しうる日本語および英語での表現力を備えた学生を受け入れます。

また、経済・社会現象を、その歴史的個性の相において理解できる構想力も求められます。つまり、経済学的に課題を組み立て、よりよい解決策を提言するためには、経済学の知識とともに、課題の背後にある歴史学的および地理学的視点も必要とされます。経済現象を幅広い視野と多角的見地から分析できる解析力や、幅広い一般的知識とそれを深化させうる理解力もまた求められます。

③ 経済学研究科修士課程研究者養成コース・博士後期課程

一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程への進学要件は、本研究科の修士課程を修了した者ないし相当学力を備えた者で、当課程における研究活動を遂行するに十分な素養を備えている必要があります。修士課程修了および当課程進学については、以下の要件を満たすことが求められています。

- 1 コア科目8単位以上を、「B」以上の成績で修得していること。この進学要件で用いたコア科目8単位分を除き、その他400番台ないし500番台の経済学研究科講義科目10単位以上を、以下の算出方法により、平均3.0以上で修得していること。【算出方法：A+を4.3、Aを4.0、Bを3.0、Cを2.0とし、単位数により加重平均をとるものとする】
- 2 博士後期課程進学資格試験（コンプ）に1科目以上合格していること。
- 3 博士後期課程進学試験に出願し、これに合格すること。

博士後期課程進学資格試験（Comprehensive Examination、通称「コンプ」）とは、原則として経済学研究科の修士課程在学者を対象として、博士後期課程進学に必要な基礎学力の有無を調べるための筆記試験です（秋（9月）と春（2月）の年2回実施）。コンプの科目は、①ミクロ経済学、②マクロ経済学、③政治経済学、④統計学・計量経済学、⑤経済史の5科目で、博士後期課程に進学希望の学生は、5科目のうち少なくとも1科目以上に修士課程2年次修了までに合格しなければなりません。ただし、各科目の受験可能回数は3回までであります。各科目の出題範囲や合格の目安は、秋（9月）のコンプについては5月頃、春（2月）のコンプについては10月頃に公表されます。

他方、他大学の修士課程を修了して当課程に進学を希望する学生は、上記コンプ試験を博士課程編入学試験として課しています。実施要領は以上の通りです。

これらの試験で求める資質は、国際学界で共有される種々の課題についての的確な理解力、それらの課題を取り巻く経済社会の現実を把握しうるアクチュアルな認識能力、また、これまで国際学界で蓄積されてきた研究状況を的確に認識して、自らの課題を伝達できる数学及び外国語による表現力になります。